

“いのち”を守る都政に真剣！ 公明党豊島総支部の

いろいろ実績ツツゴ

安全と健康のまち「豊島区」

昨年、豊島区は全国5番目となるWHOセーフコミュニティ国際認証を受けました。生活の「安全」と「健康」の質を高めていく街づくりを、行政と区民が一体となって進めています。

旧長崎中に
スポーツセンター

東長崎駅
長崎2丁目豪雨対策

落合南長崎駅
トキワ荘記念碑

南長崎3丁目
バス停の設置

西武・椎名町駅の
駅前交番の存続

旧千川小に
特別養護老人ホーム・
保育園の整備

要町、千川駅通過の
準急を各駅停車に

東京メトロ
地下鉄内でも
通信可能に

防犯カメラ
の設置

池袋大橋の
補修工事

サンシャインに
点字ブロックと音声付き信号

都営地下鉄西巢鴨駅に
エレベーターを設置

染井霊園入口の
桜のライトアップと
周辺の豪雨対策

都バス
巢鴨駅南停留所に
屋根とベンチを設置

全国有数のがん対策先進区

豊島区は「がん対策基本条例」を制定した、がん対策の先進区です。胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がんの検診と緊急肝炎ウイルス検査が無料。がん先進医療ローンの利子補給も開始されます。

副都心線雑司が谷駅の
目白通り出入口
設置を推進

“たらい回し”
65%減

進んでます！ 駅ホームドアの設置

公明党が要望してきた駅のホームドアの設置が進み、3月にはJR 山手線の池袋駅でも設置・使用が始まりました。今後も大塚駅（4月20日）、巢鴨駅（6月29日）、駒込駅（8月上旬）、目白駅（11月上旬）で使用が始まる予定です。また、豊島区内の都営地下鉄と東京メトロ各駅には既に設置済み。

主な実績

① 発達障がい者支援策前進の立役者

東京都では、言葉や行動、認知などの発達に課題のある「発達障害」への支援が大きく進んでいます。そのきっかけは長橋けい一都議が悩みを抱えた母親の「生の声」を国政に届け、発達障害者支援法の成立（2004年12月）を推進。さらに、都議会定例会でも最初に取り上げ、支援センターの増設・拡充などを訴えてきました。

この結果、2009年10月には発達障がい児支援の専門外来が都立大塚病院に開設。その早期発見・支援に向け、相談・支援体制や教育現場の支援拡充も推進しました。

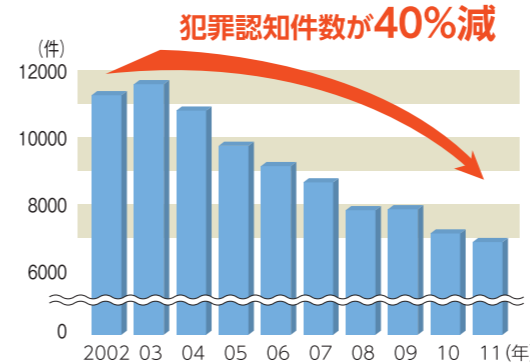


都立大塚病院の児童精神科外来棟

② 池袋の治安を改善

“危ない街、との印象がある池袋の治安が改善されています。豊島区内の警察署（池袋、巢鴨、目白）の犯罪認知件数は、この10年で40%減少し、池袋では50%近く減少しました。

長橋都議は、池袋駅周辺や区内の小中学校など子どもが集まる施設への防犯カメラの設置を進めてきました。



③ 安心の医療体制の充実

救急患者の“たらい回し”を防ぐため、2008年8月末から「救急医療の東京ルール」を実施。導入前は約4万件（6%）あった搬送困難事例が12年8月末には約1万5000件（2.3%）に。実に65%減となりました。

また、看護師不足の解消のため、再就職を支援する看護職員地域就業支援病院を29カ所に拡大。5年間で1100人が復職できました。

